







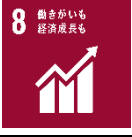











SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2025年5月29日

事業者情報					
事業者名		アットドウス株式会社			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役			
	氏名	中村秀剛			
ホームページ URL (任意)		https://atdose.com/			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
<p>当社は電気浸透流ポンプというコア技術を活用し、局所に微量に正確に投与可能なモバイル型電動シリンジを開発しています。2030年までに複数の用途・複数の国で医療機器を上市し、特に発展途上国における患者のQOL向上に貢献します。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 <p>1 貧困をなくそう</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
		○ ●			
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>
			○ ●		
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	
				○ ●	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等				
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)		SDGsゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)		目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	<input type="checkbox"/>	【メイン】 3 【サブ】 10	がん患者の抗がん剤治療に対する副作用を軽減し、患者の QOL を向上することをミッションに医療機器の開発を行う。
	社会	<input checked="" type="checkbox"/>		
	環境	<input checked="" type="checkbox"/>		
②	経済	<input checked="" type="checkbox"/>	【メイン】 17 【サブ】 3	インド現地法人や現地パートナーと協力して、医療機器の開発を行う。
	社会	<input checked="" type="checkbox"/>		
	環境	<input type="checkbox"/>		
③	経済	<input checked="" type="checkbox"/>	【メイン】 17 【サブ】 10	インドの農村部や医療施設が充実していない地域でも患者にやさしい医療を実現できる医療機器を、インド現地法人や現地パートナーと協力して開発する。
	社会	<input checked="" type="checkbox"/>		
	環境	<input type="checkbox"/>		

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	インド国内の動物実験施設である APT Testing & Research 社にて動物実験を実施 インド ムンバイにあるタタ・キャンサー・センターの研究者へ共同研究の提案を準備中		
②	atSyringe 量産に向けた準備が順調に進行。インド側パートナーと連携しながら、量産体制の構築に向けた調整が継続している。 現地投資家との協議を継続 現地投資家より出資意向を受け、現地法人担当者と協力しながら、投資家との面談・打ち合わせ		

	<p>せを継続している。</p> <p>atDose Core(モバイル型電子機器)の次フェーズに向けた活動を実施</p> <p>具体的な内容は非公開だが、インド側パートナーと協力し、次期展開に向けた準備が進められている。</p> <p>インドでの医療機器製造体制に関する打ち合わせを実施(2026年4/16)</p> <p>医療機器製造業のインド体制構築に向け、現地関係者との打ち合わせを行った。</p>		
③	<p>atSyringe M の製造販売に着手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Pune Venter Center による医療機器登録を進行 ・ Pune の金型製造業者にて量産を開始→インド現地パートナーと連携し、製造・登録体制の整備が進んでいる。一細胞診断装置の販売体制の確保に向けた活動 ・ 販売価格やビジネスモデルの調整を継続 <p>→ 地域医療への普及に向け、現地販売網の再構築を進めている。atDose Core の開発・上市に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ APT Testing & Research 社にて動物実験を実施 ・ 医師・研究者との共同研究に向けた情報収集を継続 <p>→ インド国内の展示会に出展し、医療従事者へのヒアリングを実施。</p>		